

2016年3月期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2016年5月9日

2015年度 通期 連結業績

(億円)

	14年度	15年度			前期比 (%)	業績予想	達成率 (%)
	通期	上期	下期	通期			
売上高	1,607	773	786	1,559	97.0	1,578	98.8
デバイス	1,265	629	622	1,251	98.9	1,269	98.6
PM	156	83	76	159	101.9	160	99.4
PS	186	61	88	149	80.1	149	100.0
営業利益	112	29	39	68	60.7	60	113.3
経常利益	103	15	23	38	36.9	38	100.0
特別損益	12	0	-17	-17	-	-18	94.4
当期純利益	79	1	1	2	2.5	2	100.0

14年度特別利益 : 固定資産売却、有価証券売却など 15年度特別損失 : PSL(ホーラセコンダクター) ウェハ-廃棄損など



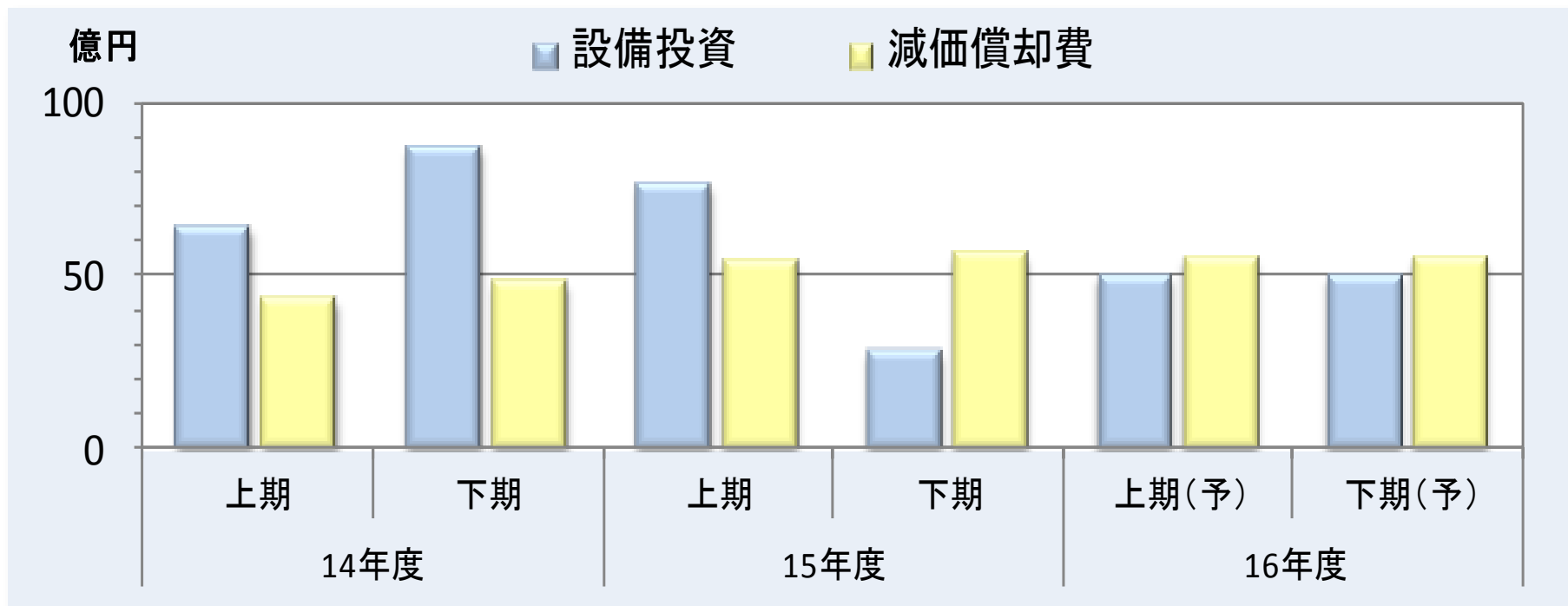
2016年度 通期業績 予想

(億円)

	15年度 実績			16年度 予想			前期比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	773	786	1,559	740	820	1,560	1	-
デバイス	629	622	1,251	604	666	1,270	19	+1.5
PM	83	76	159	70	70	140	-19	-11.9
PS	61	88	149	66	84	150	1	-
営業利益	29	39	68	18	52	70	2	+2.9
経常利益	15	23	38	10	45	55	17	+44.7
当期純利益	1	1	2	-4	29	25	23	-

・ 為替レート: 105円/US\$

※ 前期比率は本表に示した億円単位の数値から算出



16年度 設備投資100億円（国内40）、減価償却費110億円（国内40）

国内	海外
石川：車載・白物ライン増強、合理化投資 福島：メジャー装置増強、LED新パッケージ 山形：安定生産のための必要最低限投資	AML：フィリピン工場増産、タイ工場生産設備 大連：車載・白物ライン増強 SKI：車載ライン増強 PSL：安定生産のための必要最低限投資

将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。